

国立大学図書館協会ビジョン2025

**「重点領域2. 知の創出：新たな知を
紡ぐ〈場〉の提供」の取り組み事例
の発信に向けて**

令和4年度国立大学図書館協会シンポジウム（2022/9/28） 総務委員会報告

大阪大学附属図書館 赤澤久弥 (akazawa-h@office.osaka-u.ac.jp)

重点領域 2. 知の創出：新たな知を紡ぐ〈場〉の提供

国立大学図書館は、これまで人と知識や情報、あるいは人同士の相互作用を生み出すコミュニケーションの場であり、知を創出する空間であった。これからは旧来の「館」の壁を超えてその場を拡張し、物理的な場だけでなくネットワーク上に存在する情報空間をも新たな知を創出するための場として活用することにより、学習／学修・教育の質を向上させ、研究・交流活動を支援するとともに、大学と社会・地域との連携を促す。

目標2-1) 知を創出する場の拡大・整備・提供

国立大学図書館は、人と知識や情報、あるいは人同士の相互作用を生み出すコミュニケーションの場を整備し、提供することで、学習／学修・教育・研究・交流を通じた知の創出を促す。

目標2-2) 社会・地域に開かれた知の創出空間の提供

国立大学図書館は、社会・地域に開かれた新たな知の創出の場を整備し提供することで、社会・地域の活性化に貢献する。

「重点領域2に関する企画」のこれまで

■ 令和2(2020)年度春季理事会

「重点領域2. 知の創出：新たな知を紡ぐ〈場〉の提供については、委員会を設置せず、会員館の個々の取り組みによって達成をはかる。その促進、支援のための、「場」のコンテスト、優良事例の紹介、支援事業等の企画・運営は、総務委員会及び人材委員会が協力して進める。」

■ 総務委員会での企画素案の検討：2022年2月中旬～3月中旬

■ 総務委員会・人材委員会による担当者チームの活動開始：2022年5月末～

■ 企画案の策定：2022年5月末～6月末

■ 取り組みの募集：2022年7月4日～8月1日

「「知の創出：新たな知を紡ぐ〈場〉の提供」に係る事例の発信に向けた情報提供のお願い（依頼）」

「重点領域2に関する企画」担当者チームメンバー

■ 総務委員会

- 城 恭子 (北海道大学)
- 松土 真由美 (茨城大学)
- 赤澤 久弥 (大阪大学)
- 星子 奈美 (九州大学)

■ 人材委員会

- 峯岸 由美 (筑波大学)
 - 上野 友稔 (電気通信大学)
 - 兵藤 健志 (九州大学)
-

「重点領域2に関する企画」の目指すところ

- 「国立大学図書館協会ビジョン2025」では、これまでの物理的な〈場〉と併せて、情報空間をも〈場〉として活用することで、人と知識や情報、あるいは人同士の相互作用をもって知を創出し、社会・地域と連携する図書館像を示しています。
- これを踏まえて、総務委員会と人材委員会では、会員館における「〈場〉の提供」に係る多様な取り組みを国立大学図書館協会のウェブサイトで、広く社会に発信していきます。これにより、会員館における情報共有や今後の展開を図るとともに、人材の育成や新たな人材の獲得にもつなげたいと考えています。

「「知の創出：新たな知を紡ぐ〈場〉の提供」に係る事例の発信に向けた
情報提供のお願い（依頼）（令和4年7月4日）」

「重点領域2に関する企画」に係る取り組みの募集

■対象

- 1) 会員館の施設を「場」として活用する特徴的な活動（新築・増築した会員館の施設紹介も含む）
- 2) 大学キャンパスの内外やネットワーク上の情報空間を「場」として活用する活動

■方法

- 1) 「自館の取り組みの紹介」（会員館が機関単位でとりまとめて応募）
- 2) 「他館の取り組みの推薦」（会員館に所属する職員が個人単位で応募）

「「知の創出：新たな知を紡ぐ〈場〉の提供」に係る取り組み 募集要項」

「重点領域2に関する企画」に係る取り組み 募集フォーム

「自館の取り組みの紹介」

【国大図協】「知の創出：新たな知を紡ぐ<場>の提供」に係る取り組みの募集 「自館の取り組みの紹介」フォーム

貴館の「<場>の提供」に係る取り組みをぜひご紹介ください。対象となる取り組みは、
① 会員館の施設を「場」として活用する特徴的な活動（新築・増築した会員館の施設紹介も含む）
② 大学キャンパスの内外やネットワーク上の情報空間を「場」として活用する活動です。大掛かりなものだけではなく、意外な連携により<場>を広げるアイデアや、ウェブサイトを活用した事例など、幅広くとらえていただいで構いません。

なお、1館あたりの応募数の上限は、3件です。

応募のあった取り組みから、担当チームが掲載事例を選定し、選定された会員館（取り組みの担当者等）への取材と調整を経て、国立大学図書館協会ウェブサイトへ順次公開していきます。ご協力よろしくお願いいたします。

「他館の取り組みの推薦」

【国大図協】「知の創出：新たな知を紡ぐ<場>の提供」に係る取り組みの募集 「他館の取り組みの推薦」フォーム

他館の「<場>の提供」に係る取り組みをご推薦ください。対象となる取り組みは、
① 会員館の施設を「場」として活用する特徴的な活動（新築・増築した会員館の施設紹介も含む）
② 大学キャンパスの内外やネットワーク上の情報空間を「場」として活用する活動です。噂に聞いて気になっている取り組み、記事で読んだけどこの部分をもっと聞いてみたいという取り組み、これは社会に発信すべきだという取り組み等、ご推薦をお待ちしています。

なお、お一人あたりの応募数の上限は、3件です。

応募のあった取り組みから、担当チームが掲載事例を選定し、選定された会員館（取り組みの担当者等）への取材と調整を経て、国立大学図書館協会ウェブサイトへ順次公開していきます。ご協力よろしくお願いいたします。

「重点領域2に関する企画」に係る取り組みの募集結果

- 自薦：34事例、他薦：13事例(重複含む) の応募
 - 施設の新営・改修、学修支援、デジタルアーカイブ、地域連携、大学の特色を生かす活動 などの多様な事例
 - 内容、大学規模やブロック等を勘案して、国大図協ウェブサイトに掲載する取り組み、掲載の順番・組み合わせを検討中
-

「重点領域2に関する企画」の当面の予定

- 1) 応募館・応募者には、令和4年10月上旬に、担当者チームから連絡します。
紹介記事掲載対象候補館には、以後、担当者チームが取材を行います。
- 2) 令和4年12月頃から四半期ごとを目安に継続的に記事を公開していきます。
- 3) 令和5年度以降、公開事例に基づいたイベント等の実施を予定します。

※状況によって、追加募集を実施します。

「「知の創出：新たな知を紡ぐ〈場〉の提供」に係る取り組み 募集要項」

- 第1期掲載分として、2022年12月から2023年6月にかけて、各回2事例・計6事例の記事を予定
 - 「ビジョン2025」対象期間に渡って、本企画を継続
-

大学図書館と〈場〉の提供をめぐる最近の動向から

■「大学設置基準等改正要綱（案）」

【「大学設置基準等の改正について（令和4年9月7日）」】

- 「大学設置基準改正に対する国立大学図書館協会の考え（令和4年5月20日）」
- 「大学設置基準改正に関するパブリックコメント募集への国立大学図書館協会の意見（令和4年7月26日）」

■「イノベーション・コモンズ（共創拠点）」の実現に向けてまとめの方向性について

【中央教育審議会大学分科会(第168回)（令和4年6月22日）」】

「○キャンパス全体で産学連携・地域連携やアクティブ・ラーニングの場等、様々なステークホルダーが交流・対話し共創する場を展開」

➡ **大学図書館における取り組みの継承、時代に即した変容、そこにおける大学図書館像の国大図協としての発信へ。**
